

---

# PHP

---

## 時間目

array(=アレイ=配列)

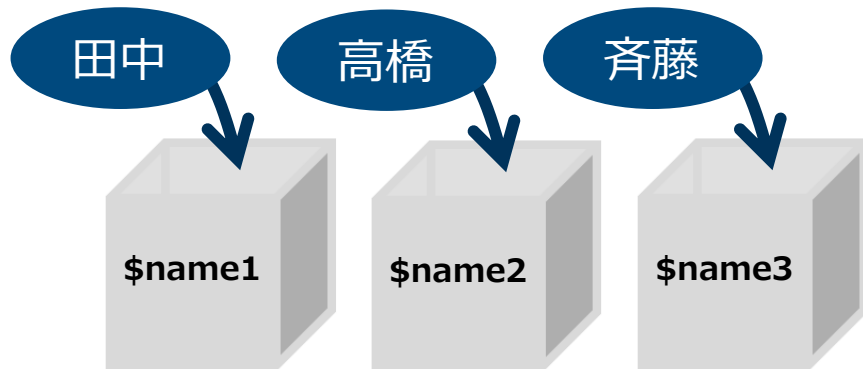
arrayとは、

複数の数字や文字などを

1つに格納して管理するもの

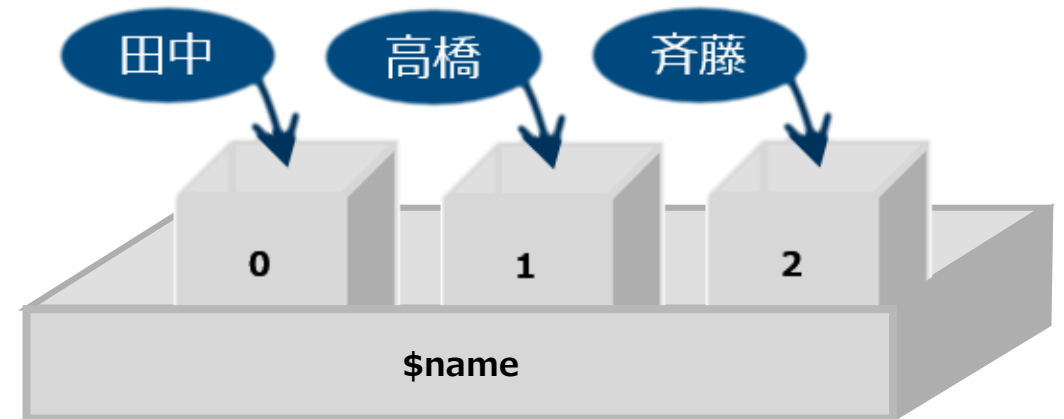
## 通常：別々の変数として管理

```
$name1="田中";  
$name2="高橋";  
$name3="斉藤";
```



## 配列として一括で管理

```
$name[0]="田中";  
$name[1]="高橋";  
$name[2]="斉藤";
```



# arrayのイメージ

解説

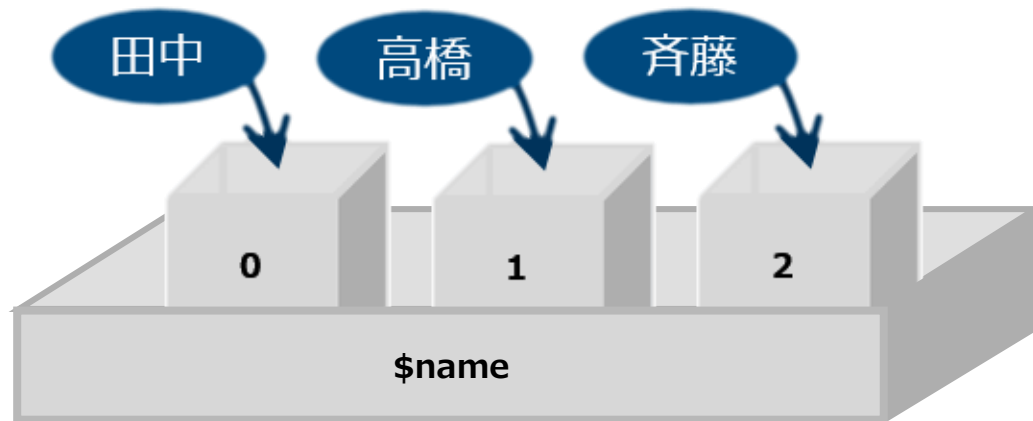
格納する箱の番号は、プログラミングの性質上必ず0から始まります。

箱に入れられた「田中」「高橋」「斉藤」を

**value（又は値）** と呼びます。

箱の番号「0」「1」「2」を

**key（又は添え字）** と呼びます。



# arrayの書き方

解説 arrayには、2通りの書き方があります。（意味は同じです）

index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name[0]="田中";  
$name[1]="高橋";  
$name[2]="斉藤";
```

```
?>
```

index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name = array("田中", "高橋", "斉藤");
```

```
?>
```

# arrayの書き方

解説

arrayで格納した後に、echoで表示することが出来る

index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

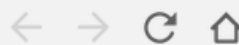
```
$name[0]="田中";
```

```
$name[1]="高橋";
```

```
$name[2]="斉藤";
```

```
echo $name[0];
```

```
?>
```



田中

# arrayの書き方

解説

arrayで格納した後に、echoで表示することが出来る

index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name = array("田中", "高橋", "斉藤");
```

```
echo $name[0];
```

```
?>
```



田中

index.php(PHPファイル)

&lt;?php

**\$z = array("x", "y", "z");****echo \$z[0];**

?&gt;

&lt; &gt; ↺ 🏠

**x**



index.php(PHPファイル)

&lt;?php

**\$z = array("x", "y", "z");****echo \$z[1];**

?&gt;

&lt; &gt; ↺ 🏠

**y**

index.php(PHPファイル)

&lt;?php

**\$z = array("x", "y", "z");****echo \$z[2];**

?&gt;

&lt; &gt; ↺ 🏠

**z**

index.php(PHPファイル)

&lt;?php

**\$abc = array(1, 5, 10);****echo \$abc[0];**

?&gt;

数字の場合は、  
クォテーションは不要

&lt; &gt; ↺ 🏠

**1**

index.php(PHPファイル)

&lt;?php

**\$abc = array(1, 5, 10);****echo \$abc[1];**

?&gt;

&lt; &gt; ↺ 🏠

**5**

index.php(PHPファイル)

&lt;?php

`$xyz = array("山田",10,7);``echo $xyz[1];`

?&gt;

数字と文字を混ぜて  
格納してもOK

&lt; &gt; ↺ 🏠

10

# データの追加

解説 一度、書き終わったarrayに、データを追加することが出来る

箱の名前は、格納した瞬間に次の番号（この場合は「3」）になる

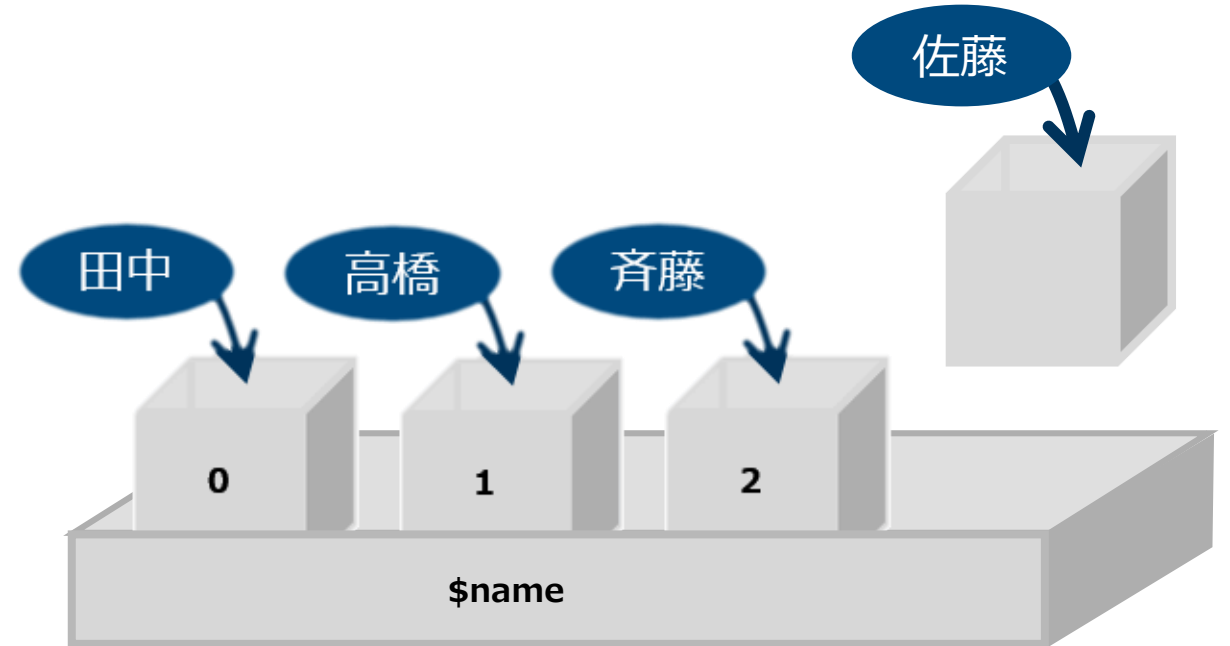
index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name = array( "田中", "高橋", "斉藤");
```

```
$name[]="佐藤";
```

```
?>
```



補足

`$name[0]="田中"; $name[1]="高橋"; $name[2]="斉藤";` のarrayの書き方で、データを追加する場合は、単純に、`$name[3]="佐藤";` と書けば良い。

格納した“佐藤”を表示してみよう

index.php(PHPファイル)

```
<?php
$name = array( “田中”, “高橋”, “斉藤”);

$name[]=”佐藤”;

echo $name[3];

?>
```

佐藤

# データの更新

解説

一度、arrayに格納した、データを更新することも可能。

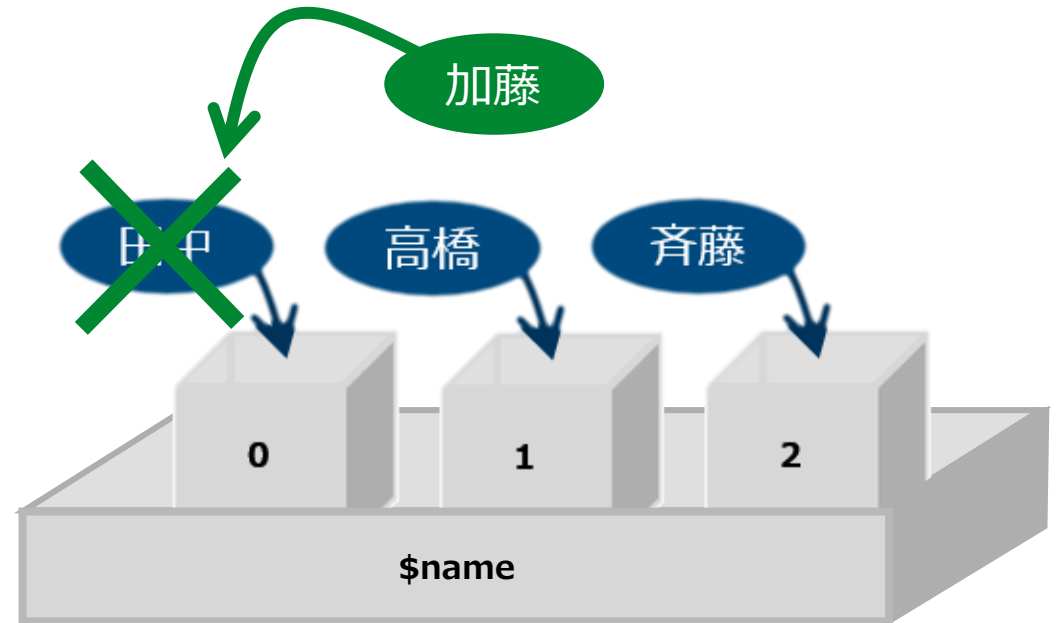
index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name = array( "田中", "高橋", "斉藤");
```

```
$name[0]="加藤";
```

```
?>
```





## 更新した“加藤”を表示してみよう

index.php(PHPファイル)

```
<?php
$name = array( “田中”, “高橋”, “斉藤”);

$name[0]=“加藤”;

echo $name[0];

?>
```

**加藤**

# データの削除

解説

一度、arrayに格納した、データを削除することも出来る

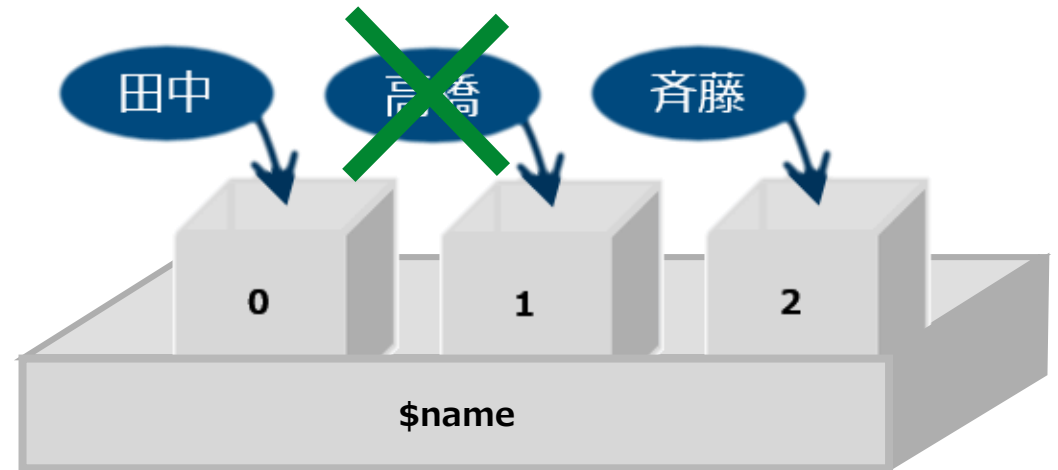
index.php(PHPファイル)

```
<?php
```

```
$name = array( "田中", "高橋", "斉藤");
```

```
unset($name[1]);
```

```
?>
```



## 削除した"1の箱"を表示してみよう

index.php(PHPファイル)

```
<?php
$name = array( "田中", "高橋", "斉藤");

unset($name[1]);

echo $name[1];

?>
```

← → ↺ 🏠

Notice: Undefined offset: 1 in C:\xampp\htdocs\php\_practice\index.php on line 8

1の箱の中に入っていた高橋が削除されたので、  
1の箱の中身を表示しようとしても、  
「エラー」が表示される。